

## 総務常任委員会の活動報告

### 町内各小・中学校を視察

委員長 川上 智子

#### 進む授業改善

9月19日に葉山小学校・精華小学校・中央小学校・葉山中学校・東津野中学校の5校を訪問し調査を行った。

平成25年度より学力向上対策室を設置し1年半あまり経過。各校、学校教育目標に基づきそれぞれ学校経営方針を立て授業改善に努められていた。

中学校ではキャリア教育として、ふるさとの伝統・文化・自然にふれる活動や職場体験研修等が行われている。職業を知り、体験するという意味から葉山中学校では、専修学校などを招きいくつかのブースを設け紹介した取り組みを実施。今年度は保護者の参加も計画予定である。

東津野中学校は中高一貫教育として、行政地区を越えた

梶原高校・梶原中学校との「津野山地域中高一貫教育」を推

進しており梶原高校より英語・数学・理科の教員が東津野中学校で授業を行う交流が行われている。

小学校では学力向上対策推進事業がスタートした当初、ドタバタしているように見えた授業中のペア学習・グループ学習時の移動もスムーズに行われるようになった。また、

1〜6年まで統一した指導方法のもと従来の「受け身」的な授業ではなく、広い視野から自分の考えを理由づけし伝える事ができつつある子ども達の成長した姿を目にすることができた。

全体的な課題としては、基本的な生活習慣の確立が不十分・家庭での会話の時間が少な

い・家庭学習の充実などがあげられた。今後は課題解決の為に、家庭、PTA、地域とのより一層の連携が重要となってくる。

若者の政治離れが問題となっている今日、議会から子ども議会の開催や議会傍聴の機会の検討を提案した。



▶ 葉山小学校



▶ 中央小学校



▶ 東津野中学校